

趣意書

新崎盛暉平和活動奨励基金

—価値ある平和活動に助成、新崎盛暉平和活動奨励基金—

沖縄は日米両国の激しい地上戦の戦場になりました。

そしてその後 27 年の長きにわたってアメリカの事実上の軍事占領下に置かれ、軍事要塞とされていました。

これに対して、沖縄の民衆は、暴力的軍事支配に非暴力的抵抗闘争を積み重ね、無権利状態の中から少しずつ民衆の権利を拡大し、1972 年の沖縄返還を実現しました。

しかしその後も米軍基地の沖縄への集中・自衛隊基地の強化等、沖縄を軍事的拠点として強化しようとする日米両政府の沖縄に対する差別的軍事政策は強化されこそすれ、改善される兆しは見せていません。

このような、沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金を設置します。

新崎盛暉平和活動奨励基金運営委員会

高嶺朝一 長元朝浩 三宅俊司 松田寛 浦崎成子 城間勝 親川裕子 我部聖

事務局

公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事 平良斗星

※同委員会は、同時に当基金に対する寄付募集も行っており、基金に対する寄付は、*公益税制の適用を受け、税額控除の対象となる。

寄付振込口座 沖縄銀行 鳥堀支店

普通口座 1422770

公益財団法人みらいファンド沖縄 代表理事 小阪 亘

※基金は公益財団法人みらいファンド沖縄の基金として設置されている